

お知らせ

乳癌の診断に関する臨床病理学的検討

1. 研究の対象

2000年1月～2015年12月に当院で乳癌の診断・治療を受けられた方です。

2. 研究目的・方法

乳癌の診断は、視触診や各種画像検査（マンモグラフィ、超音波検査、MRI検査、CT検査など）により臨床診断がなされ、穿刺吸引細胞診、針生検により確定診断がなされる。しかし、乳癌には様々なサブタイプや組織亜型が存在し、各種診断方法の精度には限界がある。乳癌の診断精度を改善するために、各種診断方法の乳癌診断能と臨床病理学的因子との相関を retrospective に検討する。これらの検討により、乳癌のサブタイプや組織亜型に基づいたより精度の高い診断が可能となる。実施期間は2016年6月13日～2018年6月12日です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

診療録や病理検査所見（詳細はp.7を参照）などを集めて行う観察研究です。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

連絡先：・・

病 院 名 : 川崎医科大学附属病院
病院所在地 : 〒701-0192 岡山県倉敷市松島 577
病院電話番号 : 086-462-1111 (内線 44373)
電子メール : kure@med.kawasaki-m.ac.jp
研究責任者 : 川崎医科大学乳腺甲状腺外科学 教授 紅林 淳一

5. 利益相反

この研究課題を実施する関係者には、アストラゼネカ(株)、中外製薬(株)、大鵬薬品工業(株)、エーザイ(株)、武田薬品工業(株)より、奨学寄付金の受け入れ、および武田薬品工業(株)より報酬・謝礼・原稿料などの受け入れがあるが、利益相反委員会にこの内容を申告し、適正に管理されている。なお、上記企業は、本研究課題には直接関係はない企業である。